

校訓「不撓不屈」 原校区小中一貫教育目標「自立と共生」
 学校教育目標「優情と自芯を育み 自ら行動できる生徒」



沼津市立原中学校
 学校だより NO.12
 令和7年1月28日
 文責:中嶋記恵子

2学期学校評価アンケートの結果

2学期末に2学期の学校評価アンケートを実施していただきました。
 御協力ありがとうございました。

現在、学校では「学校マネジメント会議」が始まり、学校評価の結果をもとに今年度の振り返りをしているところです。

右の写真は、昨日(1/27)実施した学校運営協議会の様子です。
 会の中で、運営協議会委員の皆様にも御意見をいただきました。

結果やいただいた御意見を真摯に受け止め、3学期、そして、次年度の教育活動の構想につなげていきたいと思ひます。



設問項目		R6		R5	
		上:1学期全体(%) 下:2学期全体(%)		2学期全(%)	
		生徒	保護者	生徒	保護者
1	学校が楽しい。	91.5 92.7	87.0 86.5	88.8	82.8
2	学校教育目標「優情と自芯を育み、自ら行動できる生徒」思いやりと自立の心が育ってきている。	89.0 95.0	82.0 84.4	92.8	79.9
3	地域の”物、人、事”を生かした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	—	74.0 84.9	—	78.0
4	子供が意欲的に学習したり、楽しい学校生活を送ったりするための教育環境の整備に努めている。	—	82.4 78.0	—	77.1
5	教員を除いた人的支援(支援員やスクールサポートスタッフ等)を活用していることを知っている。	—	81.2 78.5	—	75.1
6	分かりやすい授業づくりに努めている。	86.0 89.6	78.2 76.4	89.4	75.1
7	進んで授業に参加し、問いや考えを持って学習に取り組んでいる。	87.5 90.0	71.5 69.2	88.8	67.0
8	ICT 機器(クロームブック、動画、大画面装置)を日常的に活用するような授業づくりをしている。	91.6 92.7	93.8 90.3	92.9	87.1
9	言語科(読解や ALT を交えた英語)の話を聞いたことがあるか。	—	50.2 51.1	—	53.1
10	道徳の授業をはじめ、教育活動を通して、お子さんの心が育っている。	—	69.9 71.9	—	61.2
11	家庭で読書をする習慣が身につけてきている。	40.0 46.2	31.4 36.7	41.2	29.2
12	家庭学習を自主的、計画的に進めている。	73.5 71.5	52.3 51.5	60.2	53.6
13	保あいさつがしっかりできている。 生自分から進んであいさつをしている。	90.0 89.2	79.9 75.1	90.2	80.4
14	生徒の安全について十分な配慮がされている。	—	82.8 79.8	—	75.6
15	規則正しい生活習慣(早寝早起き朝ご飯等)が身につけている。	73.6 74.6	57.3 62.6	78.2	56.9
16	学校生活で仲間と仲良く協力しながら活動できている。	93.8 95.8	87.9 88.1	94.6	86.6

17	保いじめが起こらない指導やいじめの解消に努めている。 生いじめは絶対にしてはいけないことだと理解している。	98.9 98.4	75.7 73.4	99.0	66.5
18	保生徒の相談事や悩みなどについて、一人ひとりを大切にされた指導をしている。 生勉強や生活のことで困ったときに、相談できる先生や支援員等がいる。	85.3 84.3	75.3 72.7	80.9	62.7
19	保お子さんの発達のこと、相談できる窓口が学校にはあることを知っている。 生スクールカウンセラーは、困っているときや助けてほしい時に、相談にのってくれることを知っている。	94.2 94.2	79.9 74.2	89.8	66.0
20	自他の違いを認め、仲間の良さを認め合っている。(R6~)	93.7 95.7	91.2 88.2	—	—
21	将来の夢や目標を持っている。	79.0 73.9	64.1 60.4	76.6	61.7
22	「自分の身は自分で守る」意識を高めるために、避難訓練や安全指導等を計画的に実施している。	87.8 88.1	87.0 81.9	89.5	—
23	学校だよりやホームページ等、保護者や地域に向けて、通知や情報提供が十分だと思う。	95.2 94.9	91.7 88.6	93.9	76.1
24	保護者の問い合わせや要望等に対して、誠実に対応している。	—	84.1 81.8	—	74.7
25	部活動等を通じて、努力する姿勢や協力性、仲間を大切にする心を育てている。(未加入者は未記入)	91.5 92.7	84.6 77.0	93.9	78.5
26	「部活動ガイドライン」に則って意欲的に取り組めるよう指導にあたっている。(未加入者は未記入)	91.5 92.7	79.8 77.6	91.5	71.7
27	教職員は、法令を遵守し、人権意識を持って教育活動に専念している。	—	90.0 85.3	—	80.3

- ◎ 1「学校が楽しい」2「学校教育目標『優情と自心を育み、自ら行動できる生徒』〜」16「仲間と仲良く協力しながら活動できる」20「仲間の良さを認め合っている」これらの項目において、1学期同様、生徒、保護者ともに肯定的な回答が高く、子供たちが充実した学校生活を送っていることがうかがえました。2学期は「潮騒祭」があり、その取組や成功体験が、良好な人間関係の構築につながりました。
- ◎ 3「保地域の”物、人、事”を生かした特色ある学校づくり〜」「生住んでいる地域(原地区、沼津市)への関心〜」生徒と保護者では意味合いが違いますが、「地域」と関わりのある設問です。生徒は、総合的な学習で力を入れてきた「地域学習」の成果だと考えられます。
- ◎ 8「ICT機器」に関する項目も高評価です。授業での効果的な活用について、一層研修を積んでいきたいと思えます。また、AIドリルについても各教科で授業や家庭学習で効果的に活用してまいります。
- △ 6、7「授業、学習」に関する項目では、これも1学期同様、生徒と保護者との捉えに差異が見られますが、子供たちが進んで授業に参加していることが分かります。2学期は校内研修を多く実施しました。確かな学力の定着、学びの充実を目指し、今後も授業改善に尽力していきます。
- △ 12「家庭学習」に関する項目は、上記8、6、7と関連付けながら家庭での学び方も含め、指導してまいります。
- △ 11「家庭での読書習慣」については、生徒、保護者ともに肯定的な回答が低いですが、昨年度や今年度の1学期と比較すると、徐々に肯定的な回答が増えていることが分かります。学校での読書機会は限られていますが、言語科読解の時間に行う読書活動(「ビブリオバトル」「読書討論」など)や「原中読書賞」などの継続、充実を図っていきたく思います。御家庭では、毎日、少しでも決まった時間に読書をしたり、10月から始まった「ハーフェジタルDAY」(毎月第二水曜日)を家庭読書の日にしたりするなど、無理なく続けられるような取組を工夫してみてください。

